

## 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	急性期脳梗塞診断における単純CTのコンピュータ診断支援の有用性について		
2. 対象患者	2010年1月から2020年1月の間に放射線診断科でCT撮影を行った急性期脳梗塞患者さん		
3. 対象となる期間	2010年 1月 1日 ~ 2020年 1月 31日		
4. 実施診療科等	弘前大学 大学院医学研究科 放射線診断学講座		
5. 研究責任者	氏名	四ッ谷 千尋	所属 大学院医学研究科 放射線診断学講座
6. 共同研究機関	なし		
7. 研究の意義	単純CTは多施設で撮影可能であり脳卒中の診断に欠かせない検査です。急性期脳梗塞は早期診断と迅速な治療が求められますが、急性期の診断が困難な例もあります。コンピュータ診断支援の活用により、単純CTによる急性期脳梗塞の診断精度や迅速性が向上すれば、急性期治療の適応となる患者さんの増加が期待され、診断医の労力の負担軽減と医療資源の有効な活用が期待できます。		
8. 研究の目的	急性期脳梗塞診断におけるコンピュータ診断支援システムの有用性を明らかにします。		
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合の方法等)	2010年1月から2020年1月の期間に放射線診断科でCT撮影やMRI撮影を行った急性期脳梗塞患者さんについて後ろ向きに調査します。単純CT画像をコンピュータ支援診断アプリケーションで解析し、脳梗塞の疑いがある領域を図示させます。コンピュータ支援診断結果を利用した場合と、利用しなかった場合で、単純CTの読影を行い、診断の精度を比較します。また、CT撮影条件の違いによってコンピュータ支援診断結果に影響が出るか検討を行います。本研究では診療のため実施された既存画像を利用します。新たに患者さんに検査を行うものではなく、研究に伴う被爆や金銭的な負担は生じません。臨床情報や画像情報は、個人を特定できる情報を削除し、匿名化を行います。研究の成果は学会や学術雑誌で公表します。対象となる患者さんから研究の参加拒否の申し出があった場合には速やかに情報を削除します(オプトアウト)。ただし、研究結果の公表後における患者さんからの研究参加拒否の申し出には応じることが出来ません。参加拒否の申し出により患者さんに診療上の不利益が生じることはありません。		
10. 個人情報の保護	利用する情報からは、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。		
11. 利益相反に関する状況	「キャンノンメディカルシステムズ株式会社」から解析用アプリケーションの無償借用を受けます。データを学外に持ち出すことはなく、研究の公正性に影響はありません。		
12. 連絡先	弘前大学 大学院医学研究科 放射線診断学講座 四ッ谷千尋		
	電話	0172-39-5103	FAX 0172-33-5267